



うちのイチ押し!

総合フェスタ 2015

# 梅田ワンダーランド

なんだかんだで

# 楽しいフェスタ



日時 11月23日(月・祝) 10:00~16:00

場所 大阪市立総合生涯学習センター

60団体以上のNPO・市民グループと一緒に「市民の文化祭」として実施します。体験教室やワークショップ、フリーマーケットや作品展示等、盛りだくさんの内容で、子どもも大人も楽しめるイベントです。コーラス・紙芝居・人形劇・即興劇などのステージもあります。今年のテーマは「キラッと光れ!」。キラキラの装飾と、魅力たっぷりのキラッと光る素敵なブースで皆様の来場をお待ちしております。

イベント一覽

- 音楽コンサートに人形劇、踊りに紙芝居、演劇に漫才、なんでもありの盛りだくさんの内容で実施! 「総合ワンダーステージ」
- 集めて作ろう! 「アドベントカレンダー」
- 産地直送! 大阪の特産品や加工食品の販売「大阪産(おおさかもん)」
- 大阪駅前ビルから「ふるさと観光PR隊」がやってくる!  
“くまモン”(熊本県営業部長) 登場! くまモンが熊本県をPRするよ!
- 「センターで探せ! 宝探しクイズラリー」  
クイズに答えて宝箱をあけよう!



©2010 熊本県くまモン 協力 熊本県大阪事務所

費用 入場無料(※プログラムによって、材料費等費用が必要な場合があります)

問合せ 大阪市立総合生涯学習センター 企画推進課

〒530-0001 大阪市北区梅田1-2-2-500(大阪駅前第2ビル5階)(地下鉄各線・阪神・阪急「梅田」、JR「北新地」「大阪」)

Tel:06-6345-5004 Fax:06-6345-5019 <http://www.osakademanabu.com>

## おおさか歴史探訪 95

大阪の史跡や歴史資料を毎号連続でご紹介します。



### 竹本座跡

— 道頓堀芝居の隆盛が語るものとは —

今年は大坂の陣後400年ということですが、戦後復興の開始400年という年でもあります。荒廃した城下の再開を指揮したのは徳川家康の長女亀姫の子で、大坂城主に任命された松平忠明(ただあきら)でした。元和元(1615)年に、それまで工事が中断していた道頓堀(南堀川)が早くも竣工します。つまり今年が道頓堀完成400年ということ。道頓堀開削の立役者の一人であった久宝寺屋(安井)九兵衛はこの地の惣年寄となり、一帯の振興策として芝居町をここに置くことを幕府に請願します。これにより最初の芝居小屋として人形浄瑠璃(ちくごのじょうりゅう)の出羽座が寛永3(1626)年ころに開業します。遅れて貞享元(1684)年に竹本義太夫(のちの筑後掾)の竹本座も櫓を上げますが、人気は出羽座に集まっていた。

そうしたなか、元禄16(1703)年、近松門左衛門作の『曾根崎心中』が竹本座で上演され、これが「古今の大当たり」となります。この大当たりの陰には、筑後掾の芸と近松の創作力があつたわけですが、すでに観客の中心が町人になり、その町人を主人公とした「世話物」というジャンルが受け入れられたのも理由の一つでしょう。その後、筑後掾は竹本座の経営を竹田出雲に譲り、太夫として専心するとともに、近松を座付作者として迎え、『心中重井筒』・『冥途の飛脚』といった世話物の名作をここから世に出しました。道頓堀の繁栄は町人が文化の担い手となったことを物語るものといえるでしょう。

(大阪市教育委員会 文化財保護課)



道頓堀1丁目8にある顕彰碑